

環境だより



環境課 66 1122

リサイクル料金が必要になります！

平成17年1月1日から、自動車リサイクル法がスタートします。現在、日本国内では年間400万台もの車が廃車されています。部品や金属類の約80パーセントは再利用していますが、再利用が難しい破砕くずは、埋め立て処分されてきました。そこで、ごみを減らし、環境を守るために、メーカーが責任を持ってリサイクルする仕組みが作られました。これにより、車をお持ちのすべての方は、車の登録・車検などの際に、(財)自動車リサイクル促進センターにリサイクル料

自動車リサイクル法スタート

金を支払うことになります。
Q リサイクル料金はいくくら
ぐらいかかるの？

A だいたい5千円～2万円程度ですが、シュレッダーダストの発生量やフロンガス類の充てん量、エアバッグの有無により車種ごとに異なります。詳しくは、各メーカーのホームページや自動車販売店などでご確認ください。

車検時や廃車時には、リサイクル料金とは別に手数料や費用がかかる場合もあります。

Q リサイクル料金はいつ支払うの？

A 新車は購入時に、今お乗りの車は平成17年1月1日以降の最初の車検時までに、車検前に廃車にする場合は廃車時に、リサイクル料金の支払いが必要になります。

詳しくは自動車リサイクルシステムコンタクトセンターへ
03 5673 7396(受付時間/平日のみ午前9時～午後5時) ホームページ
<http://www.jarc.or.jp>

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

消防車を運転するのは誰でもできるのかといえ、そうではありません。機関員という資格を持った隊員でなければ、消防車や救急車を運転することはできないのです。機関員とは、消防車の機関操作を熟知し、安全確実な運転技術とともに市内の道路網や消防水利に精通した消防士だけに与えられる資格です。消防士として2～3年が過ぎると、見習い機関員の指名を受けます。それからは若手消防士たちは、勤務明けの朝から地図を片手に、消火栓の位置を確認するため、市内を巡り始めます。勤務日の機関操作訓練では、ベテラン機関員の厳しい怒声を浴びながら、

機関員への道のり

夏場なら汗まみれ、冬場なら冷たい水を浴び、機関操作に明け暮れます。そして、夜の待機中には、ベテラン機関員から恐怖の口頭試問が始まります。出勤時に目標となる建物の名称や場所、効果的な道順、そして付近の消火栓など、こと細かな問題が見習い機関員を悩ませます。こうして鍛えられること1～2年。新たな桜の季節には、正式な機関員として任命されるのです。

しかし、正機関員としての始まりは、新たな試練の始まりでもあるのです。これから自分たちが運転して、隊長以下何名もの消防士を現場まで安全確実に連れていかなければなりません。道を間違えたり、万一事故を起こそうものなら現場にたどり着けず、消火活動もできなければ隊員らにけがをさせる恐れもあるのです。そんな事を考えると、新人機関員は仮眠中でも眠れなくなってしまうます。

こうして、機関員としての道のりは、果てしなく続いていくのです。